

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙顕寺

長音山 本要寺

『よるこび』3

貫首

齊藤

日軌

お題目をお唱えしますと、私たちの魂は、命の本源の世界に帰ります。その命の本源の世界とは、一体何処にあるのでしょうか。遠い宇宙の彼方にあるのでしょうか。いいえ、それは、実は私達の心の中、まさに心の中心にあります。そこは、お釈迦様の説かれた空なる世界であり、静寂の世界です。自分の意識をその中心に置き、心のシラードン種子を、宇宙の意志と一つにします。このろの中心には、どこから入れればよいのでしょうか。それは、ハートです。ハートのチャクラは愛と感謝のセンターです。

自分の思い、言葉、行いを愛に満ちたものに変えてゆく。それは、思い、言葉、行いを単に利己的な動機で使わないで、ハートの寛容、愛、感謝のおもいと重ね合わせて使うことにより、私達は中心にやすくなり、扉の鍵はお題目です。



みおしえ

妙法蓮華経という御本仏は大宇宙の種です。この種、種子は宇宙の根源意識であり生命体です。この種子は遺伝子DNAのように宇宙の歴史を内蔵し、また未来の設計図でもあり。よりよき宇宙の進化を目指す意志です。私達人類の生命はこの種子から生えてきた大きな木の枝であり、芽であり、実のようなものです。この種子は何処にあるのでしょうか。それはやはり意識の中心に、私達自身の命の根源として存在しています。(所化以て同体)

この種子は宇宙の意志と活動からなるカルマ体です。宇宙の構成は、私達一人一人の生命体からなり、宇宙とは全ての命の総和です。よって私達一人の思いと行いカルマが宇宙のカルマを構成してゆきますので、カルマの更生は自分自身の為めだけではなく、全ての命と宇宙の進化のため重要な事と成ります。一人一人のよりよき想いと行いが素晴らしい生命の楽土、浄土をつくって行きます。

いのり

南無妙法蓮華経と唱え
意識を心の中心に置き
悟りを生きよう

